

6資本の強化

当社は、パーパスである「“お客様喜ばせ業”をつなぎ、期待を超える」を軸に、人・知・社会・設備・財務・自然という6つの資本を相互に高め合う価値創造モデルを構築しています。人的成長が知的資産を生み、社会関係資本へと広がり、リアルな店舗基盤で体験価値として具現化。財務基盤と環境配慮の取り組みがこれを支え、持続的な企業成長と社会価値の創出につながっています。



基本的な考え方

資本の強化方針

Input

Outcome

人的資本	当社の価値創造の源泉は、人が生み出す“お客様喜ばせ業”の実践にあります。多様な個性と熱意を持つ人財が、期待を超える体験価値を創出し、企業文化と競争力を高めています。	多様な個性と主体性を尊重し、マイスター制度や表彰制度で成長機会を提供。より公正な評価制度の実現と働きがい・働きやすさを推進することでエンゲージメントを高め、持続的な企業成長を支えます。	●マイスター／表彰制度による成長機会の提供 ●階層別研修、OJT、eラーニング ●公正な評価制度とフィードバック面談 ●健康経営施策／ダイバーシティ推進 ●従業員数：4,912名／マイスター数：309名／女性管理職比率：9.9％／男性育休取得率：79.4％※1	●ワークエンゲージメント向上（前年比+2pt） ●外部評価：えるぼし（3段階目）／健康経営優良法人（ホワイト500）／プラチナくるみん 認定 ●顧客満足度向上（店舗NPS（顧客満足度調査）前期比+3.9） ※人的資本の取り組みが、顧客満足や新規顧客獲得など事業成長に貢献
知的資本	当社は、専門知識やノウハウ、デジタル技術を活用し、顧客体験の革新と業務効率化を推進。知的資産の蓄積と活用を通じて、持続的な競争優位性を実現します。	DX推進やデータ活用、EC基盤の強化を通じて、専門知識やノウハウの蓄積・共有を加速。全社で知的資産を活用し、顧客体験と業務効率の向上を図ります。	●DX推進のためのシステム投資・ITインフラ整備 ●ECサイト刷新、顧客データや購買データの活用 ●商品知識・ノウハウの社内共有、eラーニング ●専門人材の育成・資格取得支援 ●ポイント会員数：9,400万件／取扱商品数：430万SKU／専門販売員数：4,000名	●DX推進による業務効率化・コスト削減 ●商品提案力・接客品質の向上 ●顧客体験の革新とリピート率向上 ●EC事業の前期比実績向上（売上高：109.0％／新規顧客数：+54％／平均購入回数：+0.23回／NPS：+9.5）※1
社会関係資本	地域社会や取引先、グループ会社や従業員など多様なステークホルダーとの信頼と協働を基盤に、持続的な成長と社会価値の共創を実現します。	地域社会・取引先・グループ会社・従業員との共創を軸に、防災・環境活動やグループシナジーを推進し、より豊かな生活の実現と企業価値の向上を目指します。	●ステークホルダーとの信頼関係・ネットワーク ●防災・環境活動への積極的な参画 ●取引先：3,000社以上／関係会社：26社 ●ラクウル会員数：63万会員	●地域社会や取引先との共創による新たな価値創出 ●顧客接点の拡大と事業領域の拡張 ●災害時の迅速な支援体制の構築 ●ラクウル会員数及び買取点数の増加（前期比約1.2倍）
設備資本	お客様の利便性や快適な購買体験を高めるため、店舗・物流・ITインフラなどの設備投資を継続的に行的、事業基盤の強化と競争力向上を図っています。	店舗や物流、IT基盤の刷新・最適化を進め、変化するお客様ニーズや事業環境に柔軟に対応できるインフラ体制を構築し、サービス品質と業務効率のさらなる向上を目指します。	●店舗・物流・IT基盤の刷新・最適化への投資 ●グループ横断での設備活用・ノウハウ共有 ●全店：275店舗（ビック：56／コジマ：139／ソフマップ：22／じゃんぱら：58）／物流拠点数：9	●お客様の利便性・購買体験の向上 ●サービス品質・業務効率の改善 ●事業環境変化への柔軟な対応力強化 ●売上高の増加（前期比105.6％）
財務資本	安定した財務基盤と健全な資本政策を維持し、持続的な成長投資と企業価値向上を支える基盤としています。	収益力向上や資本効率の最適化、安定的な資金調達を図り、成長投資や株主還元など多様なステークホルダーへの価値提供を強化します。	●安定した財務基盤の維持 ●成長領域における投資 ●純資産：2,117億円／営業CF：253億円／設備投資額：122億円	●収益性と資本効率の向上による提供価値の強化 ●成長投資や株主還元の強化 ●ROE：10.9％／営業利益：前期比+24.1％／純利益：前期比+28.4％／配当金：41円
自然資本	持続可能な社会の実現に向け、環境負荷の低減や資源の有効活用に取り組み、自然環境と共生する企業活動を推進しています。	サーキュラーエコノミー型ビジネスや再生可能エネルギーの活用、省エネ施策を積極的に推進し、資源循環と環境負荷低減を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。	●買取・リユース事業の強化 ●買取額：265億円 ●再生可能エネルギーの活用、省エネ施策の推進 ●エネルギー使用量：161,126kWh※2	●環境負荷低減、資源循環型社会への貢献 ●CO ₂ 排出量(Scope1,2)：63,961t-CO ₂ ※2／小型充電式電池回収実績：33,623kg※3／小型家電リサイクル再資源化実績：186.1t※3

※指標は2025年8月期の連結ベースで記載。一部「※1」：単体、「※2」：物販主要3社（ビックカメラ・コジマ・ソフマップ）、「※3」：2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）としています。